

「データヘルス計画」の策定・推進が重要と考える。既に導入している健保



議員 予防・健康管理の仕組みとして「データヘルス計画」の策定・推進が重要と考える。既に導入している健保

組合等では効果を発揮し、多くの事例が公表されている。戸田市もレセプト（診療報酬明細）・特定健康診査等の分析・活用で市民の健康増進と医療費適正化を目指し、早急に導

健康増進

「データヘルス計画」
策定で医療費適正化を

「計画策定・実施を検討する」

三浦芳一 議員

入を図るべき。



▲レセプト（診療報酬明細）の点検作業

福祉部長 戸田市の国保財政は、急激な医療費の増大により、安定的な運営について、原因と対策の究明が重要課題である。まず国保データベースシステムを活用し、詳細な原因を特定する必要がある。データヘルス計画策定・実施を検討する。

福祉センターのトイレに「手すり」設置を

福祉部長 ①より丁寧な対応を徹底する②検討する③早急に対応し設置を進めていく。

障がい児

就学時健診で
特別な配慮を
「個々に応じて対応」

馬場栄一郎 議員



議員 障がい児の保護者の学校で一律に行われる就学前の健康診断の通知を受け取り、不安を感じられる方もいる。保護者の不安を少しでも軽減するよう特別な配慮が必要ではないか。

議員 通知を出す前に障がい児が通う施設に協力を求め、就学時健診の対応や就学相談を保護者に案内してもらう。



教育部長 市内の未就学児が通う関連施設に協力依頼文書を出すことを含め検討する。

議員 今後、市として運営の支援はあるのか。

観光協会への
かわり

議員 自主運営をしてきた観光協会だが、近年、経営状況が厳しいと聞いている。現時点での市のかかわりは。

環境経済部長 観光マップの作成、植木市の

医師会との連携強化

議員 行政と地元医師会との連携が大事であり、協力関係・信頼関係をさらに深めよ。

福祉部長 非常に重要な問題と考えている。しっかりと関係強化を図っていく。

福祉センターのトイレに「手すり」設置を

市の認知行動療法の
取り組みは

「市民に情報提供している」

三輪なお子 議員



議員 うつ病の早期発見、早期治療についてこれまでの薬物療法に加え、認知行動療法の有効性が注目されている。市の取り組みの現状は。

福祉部長 リスクの高い人を拾い、相談につなげる方法として、視野に入れて検討する。

議員 ①自転車シミュレーターを活用した自転車安全利用講習を各町会単位でできないか②中学生・高校生を対象としたスタントマンによる交通事故再現を行うスクエアード・ストリート技法の交通安全教室に、地域の人や保護者にも参加を呼びかけてはどうか。

議員 自転車保険加入へのさらなる啓発を。



▲スクエアード・ストリート技法の交通安全教室

市民生活部長 積極的に努めていく。

水害対策

市内各所に土のう
ステーションの設置を

「市内7カ所などへの設置は可能」

真木大輔 議員



議員 土のうステーションを、市内各所に設置してはどうか。

危機管理 監 市内7カ所の土のう保管場所に増強する1000袋を、土



▲土のうの取り出しと返却が自由な「土のうステーション」（江戸川区）

都市整備部長 新曽土地区画整理事業区域内の施行者管理地を、土のうの仮置き場として利用することは可能。

のうステーションとして区別することは可能。

子供たちへの学習
支援を

議員 塾に行けない子供たちや家庭の学習環境に恵まれない子供たちの宿題や自習をサポートする必要があると考える。①「青少年の居場所」事業において、中学生への学習支援を打ち出し利用者拡大を図ってはどうか②学童保育室において、学習支援ボランティアの受け入れ体制をつくって

議員 教育委員会の判断を

議員 英米等の諸外国では、学校別の結果公表が、学校間・地域間の学力格差を助長し、ひいては公教育の崩壊や国全体の学力低下を招いている。慎重な判断をお願いする。

※認知行動療法…うつ病などの精神疾患は、物の見方＝認知のゆがみが原因になっているケースが少なくなく、その認知をみずから修正することで、よりよい行動に移す精神療法の一つ。 ※このころの体温計…携帯電話やパソコンを利用して、健康状態や人間関係、住環境などの簡単な質問に答えることで、ストレス度や落ち込み度がわかるメンタルヘルスチェックシステム。 ※スクエアード・ストリート…恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法。事故現場を再現してみせ、交通ルールの大切さを学ばせたりするなどの活動がある。